

IoT活用推進モデル事業（東京都水道局）

□ 令和3年よりスマートメータの発注・製作を行い、令和4年4月からスマートメータ設置開始。令和4年10月より、東京都水道局アプリ等によりお客さまサービスを開始。

事業概要・事業の進捗状況

- 事業期間：令和3年～令和6年
- 実施箇所：東京都水道局の給水区域
- 事業実施状況：スマートメータを調達中。令和4年4月から設置を開始。

導入状況・設置状況

- 令和4年度は電子メータ約42,900個・通信機器約66,000個発注済
- 令和5年度は電子メータ約66,000個・通信機器約46,000個発注予定
- 令和4年4月より随時設置を開始。



付加効果

東京都水道局アプリの稼働後、効果の発現はまだ検証できないが、下記のような効果を注視していく。

- お客さまサービスの向上
迅速なお客さま対応、漏水等の早期発見、新しいお客さまサービスの提供
ペーパーレスの推進
- 水道事業運営への活用
防災危機管理の向上、施設整備の最適化、施設維持管理の最適化

業務の効率化

東京都水道局アプリの稼働後、効果の発現はまだ検証できないが、下記のような効果を注視していく。

- スマートメータの設置により、現地を訪問しない自動検針が可能となることから、労働力人口が減少しても安定的に検針業務を実施することが可能となる。
- 水道使用状況を随時把握することが可能となり、現場調査が不要となる。

他事業者へ共有すべき事項

- スマートメータの発注について
今年度の発注は、電子式メータ本体と通信機器を別々に発注した。また、より多くの事業者の入札参加を促すため、発注業種の拡大や発注ロットの分割等を行った。
- 通信方式について
現在、給水スマートメータの通信方式はセルラー系LPWA（NB-IoT 又は LTE-M）を採用しているが、効率的・経済的な観点から、今後は様々な通信技術の活用についても検討していく。
- 計測方式について
現在、給水スマートメータは羽根車式メータを採用しているが、市場拡大を図っていく観点から、「電磁式」等その他の計測方式の採用についても検討していく。
- 公表している資料について
水道スマートメータ先行実装プロジェクト

https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/suidojigyo/torikumi/smartmeter_trialproject.html

問合せ先

東京都水道局総務部企画調整課情報企画担当
TEL:03- 5320- 6359 / Email: S1100103@section.metro.tokyo.jp